

第19回男子アジア選手権

2020年1月16日～27日 クウェート

試合結果報告

1 月 17 日 (金)

JPN	VS	CHN(中国)
17	前半	9
22	後半	7
39	合計	16

個人得点

No.	ポジション	名前	前半	後半	合計		
3	RW	柴山 裕貴博			2		
10	LW	杉岡 尚樹			9		
12	GK	岩下 祐太			1		
13	PV	笠原 謙哉			0		
15	LB	部井久アダム勇樹			3		
18	LB	成田 幸平			0		
19	RB	徳田 新之介			6		
20	RB	渡部 仁			3		
21	LW	土井レミイ杏利			3		
25	RW	元木 博紀			1		
26	GK	久保 侑生			0		
27	PV	玉川 裕康			2		
31	LB	吉野 樹			4		
33	CB	東江 雄斗			1		
42	LB	小澤 基			1		
43	PV	吉田 守一			3		
合計			0	0	0	0	39

戦評

アジア選手権初戦の相手は中国代表。チーム構成が頻繁に変わるため事前のスカウティングに苦心する中国代表だが、そのような状況の中でも最善の準備をして臨んだ。日本はGKに岩下、笠原、成田をセンター、2枚目に渡部と吉野、1枚目に元木と土井を配置した「6-0 DF」でゲームスタート。攻撃はプレーメーカーに東江、渡部と吉野がバックコート、元木と土井がサイド、ポストに笠原の布陣。立ち上がり、素早いパスワークから土井のサイドで先制。中国もコンビネーションからディスタンスを狙うも岩下が好セーブ、すかさず吉野が速攻で2点目。引き続きコンビネーションからディスタンスシュートを狙う中国に対して、日本のDFとGKの連携が上手く機能して得点を許さない。しかし、日本はセンターDFの機動力を生かして相手シューターにコンタクトに行くところで反応が遅れてしまい退場処分を受け、パワープレーの間に失点を喫する。それでも、一人少ない状況でも慌てずにコンビネーションから渡部がミドルやカットインで得点し、嫌な流れを断ち切る。

以降も岩下の好セーブから吉野のディスタンス、玉川の好ブロックからの土井の速攻などで着実に得点を重ねていく。9-1となったところで中国代表はタイムアウトを請求。タイムアウト明けから、日本はこの日代表デビューとなる小澤、部井久、柴山がコートに入る。中国はDFシステムを「4-2DF」に変更。日本は落ち着いて攻めたいところだが、逆にミスからの逆速攻で失点を重ねてしまう。しかし、相手の退場を機会に落ち着きを取り戻し、部井久のディスタンスや柴山のサイド、小澤のカットインなどで加点。さらに、相手7mTを岩下が好セーブするなど相手に流れを渡さず、17-9で前半を終了する。

ハーフタイムでは、主に「4-2DF」に対する攻略法をチーム全体でもう一度再確認して後半に臨む。後半に入っても攻撃の手を緩めず、後半から出場の杉岡のサイドや速攻などで次々に加点していく。また、後半から出場したGK久保が好セーブを連発し、この日小澤と並んで代表デビューとなった18歳の吉田も得点を決め、さらに点差を広げる。その後も小澤のカットインから得た7mTのチャンスを杉岡(本日9得点)が決めるなど、中国にペースを握らせることなく39-16でタイムアップ。

岩下と久保の両GKの活躍も目立った試合となった(岩下47%・久保46%)。

この試合の勝利によって日本はメインラウンド進出が決定。この試合のMOMにはこの日に誕生日の渡部が選出された。

明日はカタール代表との試合。日本代表は連戦となり、カタール代表は中1日で迎える試合となる。次の試合まで残された時間を有効に活用して、最善の準備を実施して更なる飛躍を狙いたい。

報告記者 :

舍利弗 学